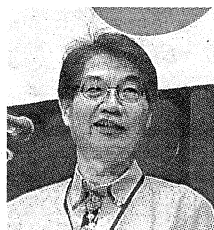


藤井社長「地域密着で事業拡大」

JFEシステム建築協力が全国大会

JFEシビル(社長・藤井善英氏)が展開するシステム建築商品「メタルビル」の施工店などで構成される「JFEシステム建築



藤井JFEシビル社長と協力の会の上木全国会長

協力会」の全国大会が2日夕、沖縄県那覇市のANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュで開催された。大会には藤井社長をはじめ会員など約160人が出席した。

冒頭、全国会長の上木雅晴ウエキグミ社長は「メタルビルは熊本地震でも大きな被害はなくその品質の高さを示した。JFEシビルは昨年度も増収増益で我々としても非常にう

れしく思う。消費増税延期は吉か凶かわからないものの何らかのインパクトとなるはずで少しでもよくなることを期待したい」と挨拶した。

表彰式で挨拶に立った藤井社長は「当社と沖縄の縁が本格的に始まったのは那覇空港の立体駐車場のお手伝いから。それから2年間

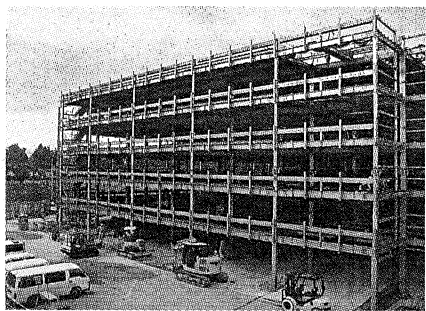
後さらなる拡大を目指し、加入300社を指していく方針。

沖縄で現場見学会

那覇空港の立体駐車場建設工事

JFEシビル

JFEシビル(社長・藤井善英氏)はこのほど、沖縄・那覇空港の立体駐車場建設工事の現場見学会を行った。見学会にはJFEシステム建築協力の会員らが参加し、その規模感に「今のシビルの勢いを象徴する現場」との感想も聞かれた。



見学した立体駐車場は設計・監理が安井建築設計事務所、元請けは大成組でJFEシビルが駐車場の施工を行った。5層6段の駐車場が敷地面積約1万4千平方メートル、延べ床面積約3万平方メートルで、1期(6888台)の工事は昨年完了しており、現在2

期(5388台)工事の鉄骨建方を行っている。写真は今年9月末の予定。柱・梁の鉄骨は外周部に溶融亜鉛めっきに常温乾燥型フッ素樹脂塗装を施し、内部は溶融亜鉛めっき仕上げ。高耐食仕様で床材にはJFE建材の合成スラブ構造のデッキプレート「Q Lデッキ」約3万平方メートルが採用されている。デッキの素材に高耐食性溶融めっき鋼板を用いるなど、塩害対策を徹底し長寿命化を図っている。本件では通常1フロア4千平方メートルまでの仕様を8千平方メートルまで対応可能な面積拡大認定を独自に取得。また、車両重量2・5トまで対応可能な認定を取得し、高評価を受け